平成21年度　農林水産省農林認定品種一覧

作物名	認定番号	品種名	申請機関（主となる育成機関）	主要特性
水稲	水稲農林糯434号	きたゆきもち	北海道立上川農業試験場	穂ばらみ期耐冷性は”極強”で強い。「はくちょうもち」より多収である。玄米白度が高く、白米白度がやや高い。おこわとつきもちでの食味がやや優る。
水稲	水稲農林糯435号	ゆがふもち	鹿児島県農業開発総合センター	多収で穂発芽性が難である。餅やおこわの食味がよい。
水稲	水稲農林436号	みなゆたか	地方独立行政法人 青森県産業技術センター農林総合研究所	「むつほまれ」より、多収で、冷害年でも不稔発生が少なく、穂いもち抵抗性が強い。
水稲	水稲農林437号	北陸193号	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター	極多収で耐倒伏性が強い。バイオエタノール原料用及び飼料用である。
水稲	水稲農林438号	ミズホチカラ	独立行政法人　農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	耐倒伏性が強く、極多収である。一般米としては品質・食味が不良であるが、米の加工適性に優れ、飼料用にも利用可能である。
小麦	小麦農林171号	ゆめかおり	長野県農業試験場	製パン性が優れる硬質小麦である。縞萎縮病、赤さび病抵抗性が優れる。
小麦	小麦農林172号	ゆめちから	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	コムギ縞萎縮病抵抗性に優れる。超強力でブレンド適性に優れる。
ばれいしょ	ばれいしょ農林61号	ピルカ	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	目が浅く、長卵形で外観が優れる黄肉青果用品種。同熟期の品種より多収でジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する。煮崩れや調理後黒変が少ないので煮物料理に向く。
だいず	だいず農林139号	里のほほえみ	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター	ダイズモザイク病に強い。倒伏に強く最下着莢節位高が高い。子実は大粒良質で、粗蛋白質含有率が高く豆腐加工に適する。
そば	そば農林6号	タチアカネ	長野県野菜花き試験場	耐倒伏性に優れ、「信濃1号」、「常陸秋そば」等の既存の普及品種より倒伏しにくい。「信濃1号」よりゆで麺の色の評価が優れる。乳熟期の果皮色が赤色になる個体が多い。
さとうきび	さとうきび農林27号	Ni27	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 九州沖縄農業研究センター	中太茎で茎の揃いがよく、多収である。脱葉性が良好で収穫しやすい。葉焼け病等の葉の病害に強い。

かんらん	かんらん農林交3号	SAKCAB001	株式会社 サカタのタネ	一斉収穫時の一球重および球形（縦横比）の揃いが良い。一斉収穫時の収量性に優れ、かつ秀品（Lサイズ）率が高い。
りんご	りんご農林18号	もりのかがやき	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所	10月中下旬に成熟する中生の黄色リンゴ。大果でさび病の発生が少ない。甘味が強く、酸味が少なく、食味は優れる。
あんず	あんず農林1号	サニーコット	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所	自家結合性で結実良好、果実重は110～120g前後と大果である。糖度が高く、適度な酸味もあり、生食用として食味が優れる。
あんず	あんず農林2号	ニコニコット	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所	自家結合性で結実が極めて良好、果実重は90g前後となる。糖度が高く酸味が少ないため、生食用として食味が優れる。
くり	くり農林9号	美玖里	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所	果実が大きく揃いが良い。果肉の色は黄色味が強い。肉質はホクホクして良好で、甘味と香気が多く食味が優れる。
ぶどう	ぶどう農林24号	クイーンニーナ	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所	巨峰より晩い時期に熟する赤色ブドウ。果粒重は17g程度で巨峰、ピオーネより大粒である。2回のジベレリン処理で容易に大粒・無核果を生産できる。
パインアップル	パインアップル農林7号	ジュリオスター	沖縄県農業研究センター	早生の大果品種。高糖低酸で果汁が多く食味が優れる。黒目病や花樟病などの果実病害が少ない。
メドウフェスク	メドウフェスク農林合3号	まきばさかえ	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	越冬性、雪腐病抵抗性に優れる。短草・多回刈での収量性に優れ、集約放牧に利用できる。
とうもろこし	とうもろこし農林交67号	たちぴりか	独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	耐倒伏性が強く、すす紋病抵抗性が極強である。

水稲農林糯４３４号「きたゆきもち」（平成２１年度認定）

１．育成機関
北海道立上川農業試験場研究部水稲科

２．来歴
育成期間：平成１０年～２１年（１２年間）
交 配 親：北海糯 286 号/上育糯 425 号//風の子もち
旧系統名：上育糯４５０号

３．主要特性
・穂ばらみ期耐冷性は“極強”で強い。
・「はくちょうもち」より多収である。
・玄米白度が高く、白米白度がやや高い。
・おこわとつきもちでの食味がやや優る。

４．特性概要
（１）生育特性
・移植栽培の出穂期は「はくちょうもち」よりやや早く「風の子もち」より早い“早生の晩”である。成熟期は「はくちょうもち」並で、「風の子もち」より早い。玄米収量は「はくちょうもち」より多収で「風の子もち」よりやや少ない。
・穂ばらみ期耐冷性は「はくちょうもち」「風の子もち」より強い“極強”であり、開花期耐冷性は“中～やや強”である。
・いもち病真性抵抗性遺伝子型は“*Pia*”と推定され、圃場抵抗性は「はくちょうもち」「風の子もち」より劣り、葉いもちおよび穂いもち抵抗性は“やや弱”であ。

（２）品質特性
・おこわの食味は「はくちょうもち」「風の子もち」にやや優る
・玄米品質は、「はくちょうもち」「風の子もち」並で、検査等級は「はくちょうもち」「風の子もち」にやや優る。

５．栽培適地及び普及見込み先
（１）生育特性
適地：北海道の網走、上川、留萌、空知、後志、渡島支庁及びこれに準ずる地域
普及見込み先：北海道で優良（奨励）品種に採用
（普及見込み面積　3,000　ha）

６．品種登録出願状況
平成 21 年 6 月 24 日　出願
平成 21 年 8 月 18 日　出願公表

７．予算区分
農林水産省指定試験事業「寒地中北部向け、早生、高度耐冷性、良食味及び直播栽培適性の水稲品種の育成」

系譜図

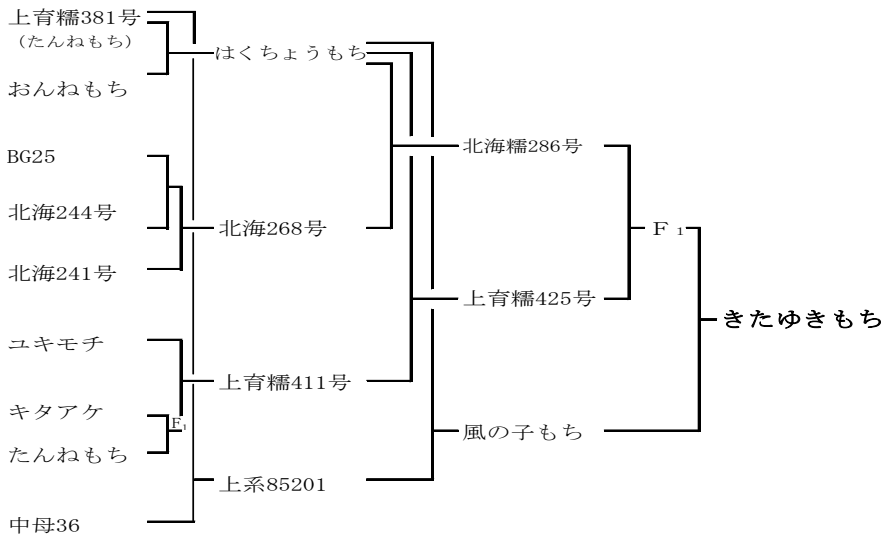


表　生育・収量・品質調査

系統 品種名	早晩性	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m2)	玄米重 (kg/a)	玄米重 標準比 (%)	千粒重 (g)	玄米 等級
きたゆきもち	早生の晩	7/29	9/11	65	17.3	540	53.3	110	21.6	1中下
はくちょうもち	早生の晩	7/30	9/11	61	15.2	560	48.3	100	20.5	2上
風の子もち	中生の中	7/31	9/15	66	16.8	533	55.4	115	21.7	2上

系統 品種名	耐倒伏性	障害型耐冷性		いもち病	いもち病抵抗性		白米白度	タンパク	食味官能総合評価	
		穂ばらみ期	開花期	真性抵抗性 遺伝子型	葉いもち	穂いもち		含有率 %	もち	おこわ
きたゆきもち	やや強	極強	中～やや強	*Pia*	やや弱	やや弱	56.2	7.5	0.37	0.22
はくちょうもち	やや強～強	強	中	*Pia*	やや強	やや強	55.3	7.5	0.00	0.00
風の子もち	やや強	強	中	*Pia*	中	中	55.7	6.9	0.20	0.01

注）平成17～20年、農試、現地試験34ヶ所の平均、食味官能総合評価は「はくちょうもち」が０である。

草　　姿

左：「きたゆきもち」、中：「はくちょうもち」、右：「風の子もち」

玄米及び籾

左：「きたゆきもち」、中：「はくちょうもち」、右：「風の子もち」

水稲農林糯４３５号「ゆがふもち」（平成２１年度認定）

１．育成機関
鹿児島県農業開発総合センター
園芸作物部作物研究室

２．来歴
育成期間：平成６年～２０年　（１４年間）
交 配 親：奥羽糯３４９号×ふ系１７６号
旧系統名：西南糯１１８号

３．主要特性
・多収である。
・穂発芽性が難である。
・餅やおこわの食味が良い。
・「ゆがふ」は「世果報」と表す古語で、沖縄に残っている言葉。世の中の素晴らしい事、豊年や五穀豊穣を願う意味が込められている。

４．特性概要
（１）生育特性
・暖地の標準品種より多収である。
・「ウルマモチ」より耐倒伏性が強い。
・穂発芽性が難である。
・葉いもち圃場抵抗性は“やや強”である。

（２）品質特性
・玄米の外観品質が優れる。
・餅やおこわで美味しい。

５．栽培適地及び普及見込み先
栽培適地：早期栽培地帯ならびに南西諸島
採用県　：沖縄県（平成 20 年採用。「ウルマモチ」を廃止し置替え。）
普及面積：平成 21 年度実績 8ha、平成 23 年度計画 36ha

６．品種登録出願状況
平成２０年　８月２２日　出願
平成２０年１０月２８日　出願公表

７．予算区分
指定試験事業
課題名：温暖地及び暖地の早期栽培向け、高温耐性、穂発芽耐性、良食味、多収の水稲品種の育成

系譜図

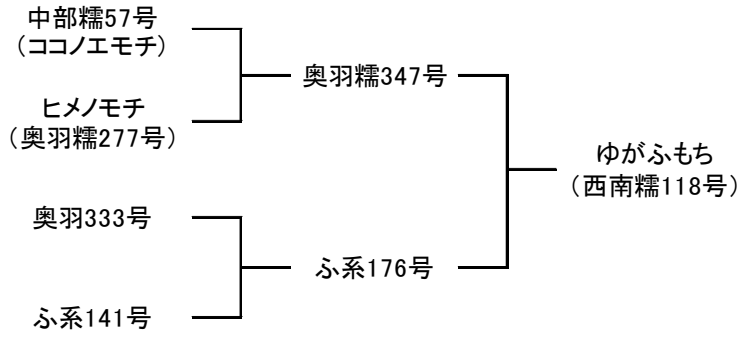


表1　生育特性

品種名	精玄米重 kg/a(標比%)	耐倒伏性	耐穂発芽性	いもち病圃場抵抗性 葉いもち	いもち病圃場抵抗性 穂いもち	いもち遺伝子型	試験地及び年次
ゆがふもち	52.2(107)	やや強	難	やや強	中	+	鹿児島(育成地)
峰の雪もち	48.8(100)	強	やや難	中	やや弱	*Pia*	平成11～21年
ゆがふもち	46.2(122)	ヤヤ強	難	ヤヤ強	中	+	沖縄県石垣島
ウルマモチ	38.0(100)	中	やや難	強	強	*Pia,Piz*	平成13～19年

沖縄県石垣島は1期作のデータ。

表2　品質特性

品種名	玄米千粒重 g	玄米外観品質 1:上上～9:下下	食味 つき餅	食味 おこわ	試験地及び年次
ゆがふもち	21.8	4.2	上下	上下	鹿児島(育成地)
峰の雪もち	22.0	3.3	上下	上下	平成11～21年
ゆがふもち	22.4	3.4	上下	上下	沖縄県石垣島
ウルマモチ	21.2	4.7	上下	中上	平成13～19年

峰の雪もち　　ウルマモチ　　ゆがふもち

ゆがふもち　　峰の雪もち　　ウルマモチ

ゆがふもち　　峰の雪もち　　ウルマモチ

ゆがふもちの圃場における草姿（上段）、抜き取り株の草姿（下段左）、玄米及び籾（下段右）

水稲農林４３６号「みなゆたか」（平成２１年度認定）

１．育成機関

地方独立行政法人青森県産業技術センター
農林総合研究所　藤坂稲作研究部

２．来歴

育成期間：平成１０年～２０年　（１１年間）
交 配 親：青系１３５号、ふゆげしき×ふ系１８６号
旧系統名：ふ系２１１号

３．主要特性

・「むつほまれ」より多収である。
・冷害年でも「むつほまれ」より不稔発生が少なく多収である。
・穂いもち抵抗性が「むつほまれ」より強い。
・「みなゆたか」の名称の由来は、豚、鶏、牛のほか稲作農家、畜産農家のみんながゆたかになるようにとの想いを込めて命名した。

４．特性概要

（１）生育特性

・出穂期は「むつほまれ」並、成熟期は「むつほまれ」より２日程度遅く、育成地では「中生」である。
・稈長は「むつほまれ」より５ cm 程度長い。
・耐倒伏性は「むつほまれ」並の「強」である。
・いもち病抵抗性は、真性抵抗性遺伝子は「*Pii*」を持つと推定され、葉いもち、穂いもちともに「やや強」である。
・障害型耐冷性は「極強」である。

（２）品質特性

・玄米品質は「むつほまれ」並で主食用品種との区別性はない。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：東北北部及び中山間地域
普及見込み：青森県で飼料作物奨励品種に採用
（普及見込み面積　2,500 ha）

６．品種登録出願状況

平成２１年３月１７日　出願
平成２１年５月２８日　出願公表

７．予算区分

農林水産省指定試験事業　「寒冷地北部及び中山間地向け高度耐冷性、良食味品種及び直播適性の水稲品種の育成」

系譜図

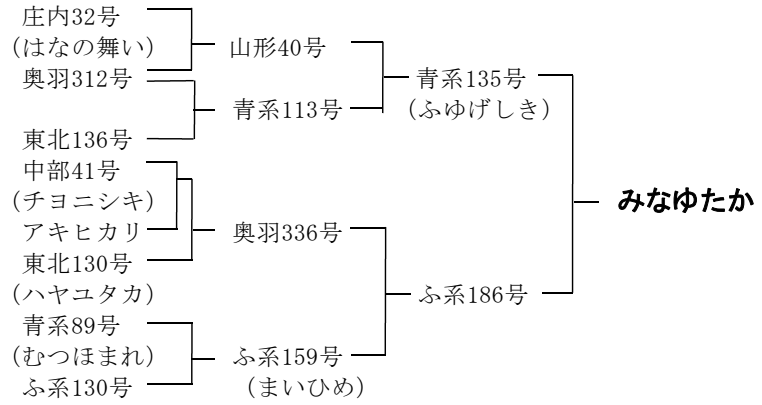


表１　生育特性

（育成地、施肥量(N成分kg/a)：0.9+0.2）

品種名	出穂期（月.日）	成熟期（月.日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本/㎡）	風乾全重（kg/a）	粗玄米重（kg/a）	不稔歩合（%）
平年（平成16～20年、19年は除く）								
みなゆたか	8. 4	9.27	81	17.1	399	174	70.2	－
むつほまれ	8. 4	9.25	77	17.1	452	169	68.7	－
冷害年（平成15、19年）								
みなゆたか	8. 9	9.27	75	16.1	389	163	47.1	22.7
むつほまれ	8. 9	9.22	69	16.5	438	152	32.1	42.0

品種名	耐倒伏性	穂発芽性	耐冷性	いもち病抵抗性			白葉枯病抵抗性
				真性	葉いもち	穂いもち	
みなゆたか	強	やや難	極強	*Pii*	やや強	やや強	弱
むつほまれ	強	中	中	*Pia*	強	中	やや弱

表２　品質特性

（育成地、平成20年）

品 種 名	玄米				飼料成分含有率(粗玄米乾物中%)		
	千粒重（g）	粒長（mm）	粒幅（mm）	品質（1-9）	水分	粗蛋白質	可消化養分総量
みなゆたか	22.8	5.20	2.89	5.5	14.2	7.3	94.7
むつほまれ	22.5	5.18	2.88	5.5	14.2	7.8	94.4

草　　姿　（稲　株）

（左：「みなゆたか」、右：「むつほまれ」）

籾　及　び　玄　米

（左：「みなゆたか」、右：「むつほまれ」）

草　　姿　（立　毛　中）

水稲農林４３７号「北陸193号」（平成２１年度認定）

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター

２．来歴
育成期間：平成４年～１９年　（１６年間）
交 配 親：上344／桂朝2号
旧系統名：北陸193号

３．主要特性
・極多収である。
・耐倒伏性が強い。
・バイオエタノール原料用及び飼料用

４．特性概要
（１）生育特性
・熟期は、「日本晴」よりやや遅い、育成地では晩生の晩である。
・稈長は「日本晴」よりやや短く、穂長は長く、穂数は少なく、草型は極穂重型である。
・収量性は「日本晴」より2割程増収し、極多収である。
・いもち病真性抵抗性遺伝子は不明であり、発病は認められない。
・白葉枯病抵抗性はやや強、縞葉枯病には抵抗性である。
・穂発芽性はやや難、脱粒性はやや難で、耐倒伏性は極強である。

（２）品質特性
・玄米の粒形はやや細長く、一般食用品種との識別が容易である。
・タンパク質含量は「日本晴」並で、アミロース含量は「日本晴」よりやや低く、成分としては一般食用品種と大差がない。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北陸および関東以西の冷害常襲地を除く地域
普及見込み：許諾件数10件（普及見込み面積300ha）

６．品種登録出願状況
平成１９年６月１４日　出願
平成１９年９月１９日　出願公表

７．予算区分
［運営費交付金］212a：直播適性に優れた高生産性飼料用稲品種の育成

系譜図

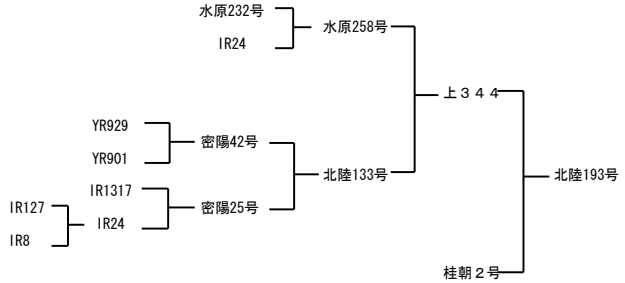


表１　生育特性

（育成地 平成9～18年）

系統名 品種名	出穂期 （月.日）	成熟期 （月.日）	稈長 （cm）	穂長 （cm）	穂数 （本/m2）	全重 （kg/a）	粗玄米重 （kg/a）	同上比率 （%）	玄米千粒重 （g）
北陸193号	8.16	10.04	80	29.0	236	201	78.0	118	22.9
日本晴	8.15	9.27	83	20.7	398	179	66.3	100	23.3
コシヒカリ	8.04	9.15	98	19.7	408	167	65.4	99	21.9

注）1.Ｎレベルで基肥6kg/10a、穂肥が3kg/10a
2.北陸193号と日本晴は平成10～17年の平均値、コシヒカリは平成9～15年、17年の平均値

品種名	病害抵抗性		穂発芽性	脱粒性	耐倒伏性
	白葉枯病	縞葉枯病			
北陸193号	やや強	抵抗性	やや難	やや難	極強
日本晴	やや強	罹病性	中	難	やや強
コシヒカリ	やや強	罹病性	難	難	弱

表２　品質特性

（育成地　平成12年度）

品種名	玄米の粒形						穀粒成分特性	
	粒長 （mm）	粒幅 （mm）	粒長／粒幅	粒長×粒幅	粒形	粒大	タンパク質含量 （%）	アミロース含量 （%）
北陸193号	6.2	2.8	2.2	17.4	やや細長	やや大	6.6	14.1
日本晴	5.3	3.0	1.8	15.9	中	中	6.5	17.5

草　　姿

（左：北陸193号、中：日本晴、右：夢十色）

籾および玄米

（左：北陸193号、中：日本晴、右：夢十色）

圃場における草姿

（左：日本晴、右：北陸193号）

水稲農林４３８号「ミズホチカラ」（平成２１年度認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター　低コスト稲育種研究九州サブチーム

２．来歴

育成期間：昭和６２年～平成２０年（２２年間）
交 配 親：奥羽 326 号／ 86SH283 長（水原 258 号/台農 67 号 F6 系統）
旧系統名：西海 203 号

３．主要特性

・耐倒伏性が強く、極多収である。
・一般飯米としては品質・食味が不良であるが、米粉の加工適性に優れ、飼料用米にも利用可能である。

４．特性概要

（１）生育特性

・出穂期は「ニシホマレ」並かやや早い“中生の晩”で成熟期は「ニシホマレ」より普通期で 14 日程度おそく“極晩生”である。
・稈長は「ニシホマレ」より 10cm 程度短い短稈で、耐倒伏性は「ニシホマレ」より強い“極強”である。
・玄米収量は育成地では「ニシホマレ」より約 20%多収であり、配付先では対照の主食用品種に比べ 20 ～ 30%前後多収で、最大 1t/10a の粗玄米収量が得られる。

（２）品質特性

・玄米の見かけの品質は腹白が多く“下上”であり、食味も「コシヒカリ」に明らかに劣る“中下”である。
・「コシヒカリ」や米粉パンに適するとされる「タカナリ」よりも、製粉時のデンプン損傷率が少なく、パンのふくらみが良く腰折れ(焼成後変形）が少ないなど優れた加工特性を示す。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：九州(平坦部)
普及見込み先：福岡県で飼料用米として、熊本県で米粉用米として普及中
普及見込み面積　200ha（福岡県 100ha　熊本県 50ha（見込み）その他九州各県合計 50ha（見込み））

６．品種登録出願状況

平成２１年３月　４日　出願
平成２１年５月２８日　出願公表

７．予算区分

［委託費］平成２０年度「えさプロ」実施課題：暖地向き多作期対応超多収発酵粗飼料用稲品種の育成

系譜図

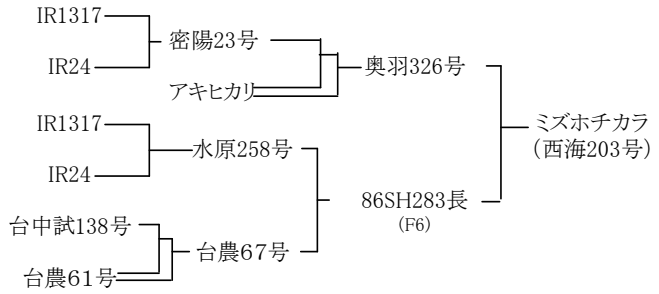


表1 「ミズホチカラ」の栽培特性(1991～2008;育成地)

品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	倒伏 0:無-5:甚	耐倒伏性	粗玄米重 (kg/a)	比較比率 (%)	玄米品質 1:良-9:否
ミズホチカラ	**9.02**	**10.31**	**76**	**0.1**	**極強**	**72.8**	**118**	**7.4(下上)**
ニシホマレ	9.03	10.22	91	0.8	やや強	60.6	100	4.2(中上)

表2 「ミズホチカラ」の食味および加工適性

品種名	米飯の食味 (育成地)	白米アミロース含有率(%) 食総研 1993	食総研 2008	(株)波里 2008	米粉の損傷デンプン比率(%) 熊本製粉 2007	(株)波里 2008	パンの膨らみ(比容積:cm^3/g) 熊本製粉 2007	S社(2008) ストレート法	中種法
ミズホチカラ	**-1.49**	**22.2**	**24.3**	**23.7**	**3.6**	**4.2**	**3.73**	**4.28**	**4.54**
コシヒカリ	0.00	14.8	17.1	17.4	13.1	16.6	3.24	3.75	4.49
タカナリ	－	17.1	18.4	16.8	－	9.6	－	3.94	4.57

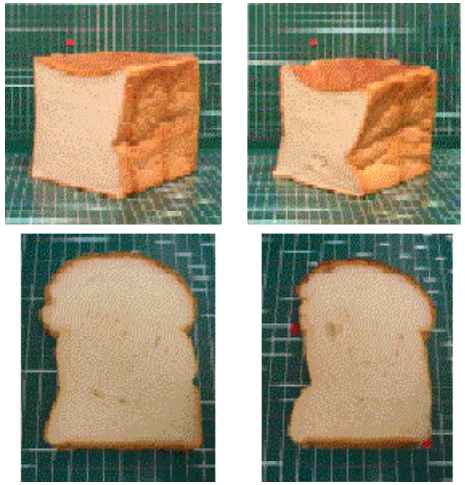
表3 ミズホチカラの配付先における多収事例

	試験地・年次	粗玄米重 (kg/a)	比較比率 (%)	対照品種
5	広島県福山市(2008)	100.7	－	－
月	富山県富山市(2008)	83.9	120	コシヒカリ
植	茨城県つくばみらい市(2001-08)	82.8	132	日本晴
6	香川県善通寺市(1994-5)	92.6	138	日本晴
月	福岡県筑後市(1992-94)	82.9	123	ニシホマレ
植	福岡県筑後市(2008)	91.3	－	－

ミズホチカラの草姿

稲株：左：ニシホマレ　中：ミズホチカラ　右：ニシアオバ
（ニシアオバ：稲発酵粗飼料用品種）

籾および玄米　　左：ニシホマレ　中：ミズホチカラ　右：ニシアオバ



試作した米粉パン（S社製;加工プロ4系における試験成績）
左:ミズホチカラ　　右:コシヒカリ
（上：角型食パン　下：山食パン）

小麦農林１７１号「ゆめかおり」（平成２１年度認定）

１．育成機関
長野県農業試験場　育種部
農林水産省　小麦育種指定試験地

２．来歴
育成期間：平成 8 年度～ 19 年度（12 年間：播種年度）
交 配 親：西 海１８０号（ニシノカオリ）×KS831957
旧系統名：東山 42 号

３．主要特性
・製パン性が優れる硬質小麦である。
・縞萎縮病、赤さび病抵抗性が優れる。
・おいしいパンと清涼感をイメージし「ゆめかおり」と命名。

４．特性概要
（１）生育特性（シラネコムギ対比）
・播性の程度はⅡで、出穂期、成熟期はやや早い。
・稈長はやや長いが、耐倒伏性は強い。
・穂発芽性は”やや難”、縞萎縮病抵抗性は”強”、赤さび病抵抗性は”強”、赤かび病は”中”でいずれも「シラネコムギ」より優れる。

（２）品質特性（ユメアサヒ対比）
・硬質小麦で、製パン性が「ユメアサヒ」と同等以上で優れる。
・原粒、60 %粉の粗蛋白質含量は同等でやや多い。
・60 %粉のアミロース含量は高く通常アミロースである。
・ファリノグラム吸水率が高く、生地物性は同等以上で強い。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：関東・東山～北陸地域～東北南部（ただし多雪地は除く）
普及見込み：栃木県（H21.3）、長野県（H21.9）で認定品種に採用
（普及見込み面積：栃木県 300ha、長野県 200ha）
茨城県で採用に向け有望視

６．品種登録出願状況
平成 21 年 3 月 18 日　出願
平成 21 年 6 月 29 日　出願公表

７．予算区分
農林水産省委託事業（指定試験事業）

系譜図

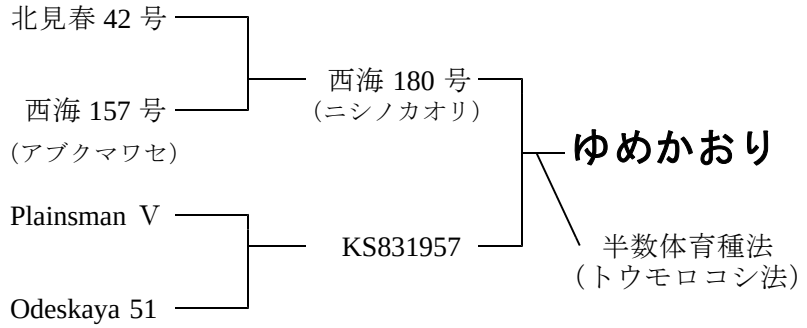


表1　生育特性　（長野県農業試験場　平成12～19年度）

品種名又は系統名	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	子実重（kg/a）	耐倒伏性	穂発芽性	縞萎縮病抵抗性	赤さび病抵抗性	赤かび病抵抗性
ゆめかおり	5月7日	6月22日	95	61.1	強	やや難	強	強	中
シラネコムギ	5月8日	6月24日	85	66.4	強	やや易	中	弱	やや弱
ユメアサヒ	5月8日	6月23日	97	59.3	やや弱	やや難	やや強	中	やや弱

表2　品質特性　（長野県農業試験場　平成16～18年度）

品種名又は系統名	60%粉灰分含量(%)	60%粉蛋白質含量(%)	60%粉アミロース含量(%)	ファリノグラム 吸水率(%)	ファリノグラム ピークタイム(分:秒)	ファリノグラム VV	製パン性評価
ゆめかおり	0.45	11.9	27.4	69.9	7:30	72	76
シラネコムギ	0.40	9.9	28.4	－	－	－	－
ユメアサヒ	0.42	10.9	26.8	66.9	6:30	69	75

・製パン性評価は1CWを80点とする.

草　姿

（左：「ゆめかおり」、中：「ユメアサヒ」　右：「シラネコムギ」）

穂及び子実

（左：「ゆめかおり」、中：「ユメアサヒ」　右：「シラネコムギ」）

小麦農林１７２号「ゆめちから」（平成２１年度認定）

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センターパン用小麦研究チーム

２．来歴
育成期間：平成７年～１９年　（１３年間）
交 配 親：（札系 159 号× KS831957）×月系 9509（キタノカオリ）
旧系統名：北海 261 号

３．主要特性
・コムギ縞萎縮病抵抗性が優れる。
・超強力で、ブレンド適性が優れる。
・名称の由来：新しく登場する国産パン用超強力小麦に託した夢を表す。

４．特性概要
（１）生育特性
・出穂期は同程度で、成熟期は２日遅い。
・収量性は育成地では「ホクシン」より多いが、試験を実施した北海道の平均ではほぼ「ホクシン」並である。
・コムギ縞萎縮病抵抗性は極めて優れる。
・赤さび病および赤かび病抵抗性は「ホクシン」よりもやや優れる。

（２）品質特性
・60％粉粗蛋白質含量は「ホクシン」よりも高い。
・ミキソグラムの生地形成時間は「ホクシン」、「キタノカオリ」よりも長く、グルテンの力は極めて強い。
・「ホクシン（中力小麦）」とブレンドすることにより優れた製パン適性を示す。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北海道の秋まき小麦栽培地帯
普及見込み：北海道で優良品種に採用、許諾件数２件
（普及見込み面積　1,000ha）
兵庫県で採用に向け、大規模試作を実施中。

６．品種登録出願状況
平成２０年　９月１２日　出願
平成２０年１２月１０日　出願公表

７．予算区分
［運営費交付金］311c：実需者ニーズに対応したパン・中華めん用等小麦品種の育成と加工・利用技術の開発

系譜図

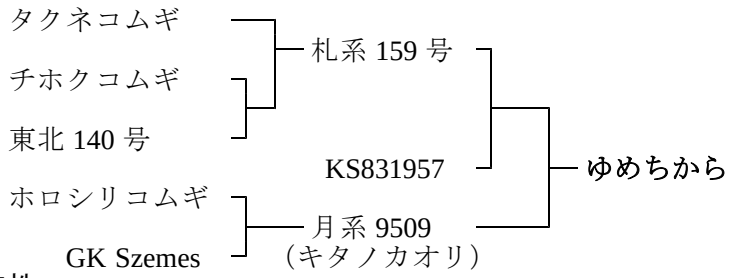


表１　生育特性
生育特性（育成地：芽室町　平成17～19年度）

品種名	出穂期（月日）	成熟期（月日）	稈長（cm）	穂長（cm）	穂数（本/㎡）	子実重（kg/a）	同左比（%）	容積重（g）	千粒重（g）
ゆめちから	6.10	7.30	85	9.8	972	83.4	108	838	41.8
ホクシン	6.10	7.28	92	9.1	1,014	77.2	100	827	38.0
キタノカオリ	6.15	8.02	87	10.3	926	88.4	114	849	42.4

特性検定試験（育成地および特性検定場所　平成17～19年度）

品種名	耐倒伏性	穂発芽性	耐雪性	病害抵抗性			
				コムギ縞萎縮病	赤さび病	うどんこ病	赤かび病
ゆめちから	強	中	中	強	強	やや強	中
ホクシン	強	中	やや強	弱	やや弱	やや強	やや弱
キタノカオリ	強	やや弱	中	弱	かなり強	強	やや弱

表２　品質特性
小麦粉品質特性（育成地　平成17～19年度）

品種名	60%粉粗蛋白質含量（%）	ファリノグラム 吸水率（%）	ファリノグラム VV	ミキソグラム 生地形成時間（分）
ゆめちから	11.7	68.4	68	5.0
ホクシン	9.9	53.3	41	2.7
キタノカオリ	11.2	68.1	65	3.7

製パン試験（日本パン技術研究所　平成16年）

品種名	パンの官能評価			
銘柄名	外観(30)	内相(45)	食感(25)	総合
ゆめちから	23.5	34.0	18.5	76.0
ブレンド	24.5	36.0	21.0	81.5
ホクシン	21.0	28.5	16.0	65.5
1CW	24.0	36.0	20.0	80.0

注）ブレンドはゆめちからとホクシンを等量混合した。
（ ）内の数字はそれぞれの項目の配点を示す。

草　　姿

穂　お　よ　び　原　粒

（左：「ゆめちから」、中央：「ホクシン」、右：「キタノカオリ」）

（左：「ゆめちから」、中央：「ホクシン」、右：「キタノカオリ」）

ばれいしょ農林６１号「ピルカ」（平成２１年度認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター
バレイショ栽培技術研究チーム・寒地地域特産研究チーム

２．来歴

育成期間：平成６年～２０年　（１１年間）
交 配 親：メイホウ×十勝こがね
旧系統名：北海 97 号

３．主要特性

・目が浅く、長卵形で外観が優れる黄肉色青果用品種。
・同熟期の品種より多収でジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有する。
・煮くずれや調理後黒変が少ないので、煮物料理に向く。
・名称（ピルカ）の由来：アイヌ語で美しいを意味し、外観が優れていることや、皮むきしやすいことから、ピール(peel)ともかけて（出願中）

４．特性概要

（１）生育特性

・中早生の枯ちょう期で、規格内いも重において「男爵薯」および「メークイン」より多収である（表１）。
・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有するので、汚染地での栽培では同線虫の密度を低減し、未発生地では汚染の拡大を未然に防ぐ効果がある（表１）。

（２）品質特性

・水煮時の肉色は淡黄で調理後黒変や煮崩れが少なく、肉質は「メークイン」同様の“やや粘”で、食味の評価は「男爵薯」並みであり、総合的に水煮適性が高い（表２）。
・同じ剥皮歩合で比較すると既存品種よりトリミング数が少なく、剥皮歩留りが高くなり棄却する重量が少なくなることから、作業効率の向上や残渣廃棄物の減少が図られる（表２）。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：北海道のばれいしょ栽培地帯
普及見込み：北海道で奨励品種に採用（普及見込み面積　500ha）

６．品種登録出願状況

平成２１年９月７日　出願

７．予算区分

［運営費交付金］211e1：病虫害複合抵抗性品種を中核とした新栽培体系による馬鈴しょ良質・低コスト生産技術の開発

系譜図

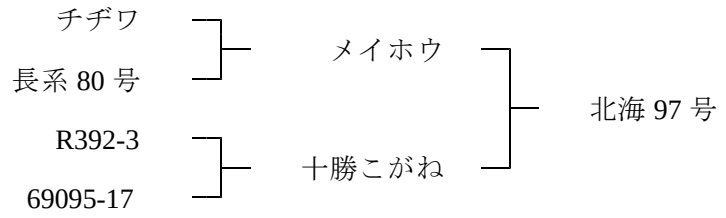


表１　生育特性（育成地、平成15～20年度）

品種・系統名	枯ちょう期（月.日）	上いも平均重（g）	規格内いも重（kg/10a）	標準比（%）	でん粉価（%）	病虫害抵抗性 ｼﾞｬｶﾞｲﾓｼｽﾄｾﾝﾁｭｳ[1]	病虫害抵抗性 軟腐病
ピルカ	9.10	107	3654	118	15.0	強(H1)	強－中
男爵薯	9.2	83	3109	100	16.4	弱(h)	中－弱
メークイン	9.13	83	3421	110	16.3	弱(h)	－(弱)[2]

１）北海道立北見農業試験場による特性検定試験結果
２）（　）内はばれいしょ種苗特性分類基準に基づく判定

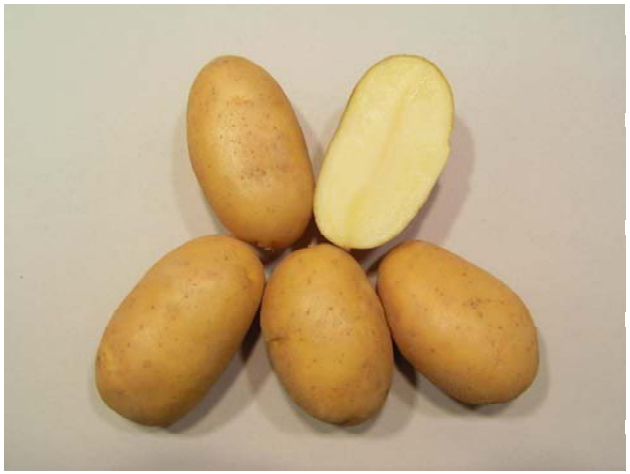
表２　品質特性（育成地、平成17～20年度）

品種・系統名	水煮 肉色	水煮 黒変	水煮 肉質	水煮 煮崩れ	水煮 食味	目の深さ	トリミング数[1]
ピルカ	淡黄	微	やや粘	少	中上	浅	2.1
男爵薯	白	少	やや粉	中	中上	深	9.8
メークイン	淡黄	微	中(やや粘)[2]	中(微)	中(中上)	浅	12.5

１）機械による９０％剥皮時の人手によるﾄﾘﾐﾝｸﾞ必要数(ヵ所/kg)
２）（　）内はばれいしょ種苗特性分類基準に基づく判定

草　　姿

（左：「北海 97 号」、右：「男爵薯」）



（上：「北海 97 号」、下：「男爵薯」）

大豆農林１３９号「里のほほえみ」（平成２１年度認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
東北農業研究センター大豆育種研究東北サブチーム

２．来歴

育成期間：平成８年～２０年　（１３年間）
交 配 親：東北129号×刈交0264MYF$_6$
旧系統名：東北160号

３．主要特性

・ダイズモザイク病に強い。
・倒伏に強く最下着莢節位高が高い。
・子実は大粒良質で粗蛋白質含有率が高く豆腐加工に適する。
・品種名「里のほほえみ」は、東北の「里」で健やかに生育して、生産者や実需者の顔に「笑み」がこぼれることを願って命名した。

４．特性概要

（１）生育特性

・成熟期は「エンレイ」や「スズユタカ」より遅く、子実収量は「エンレイ」よりやや低く「スズユタカ」並である。
・ダイズモザイクウイルス抵抗性は「スズユタカ」と同じ強である。
・倒伏抵抗性は「エンレイ」や「スズユタカ」より強く、最下着莢節位高が高い。
・子実の粒大は「エンレイ」や「スズユタカ」より大きい大粒である。

（２）品質特性

・外観品質は「エンレイ」や「スズユタカ」より良好な上の下である。
・粗蛋白質含有率は「エンレイ」並の高、粗脂肪含有率は中である。
・豆腐加工適性は硬さ等に問題がないことから適である。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：南東北地域
普及見込み：山形県で平成２０年度奨励品種に採用
（普及見込み面積　500ha）

６．品種登録出願状況

平成２１年５月１９日　出願
平成２１年７月２９日　出願公表

７．予算区分

［運営費交付金］211b1:省力・機械化適性、加工適性、病害虫抵抗性を有する食品用大豆品種の育成と品質安定化技術の開発

系譜図

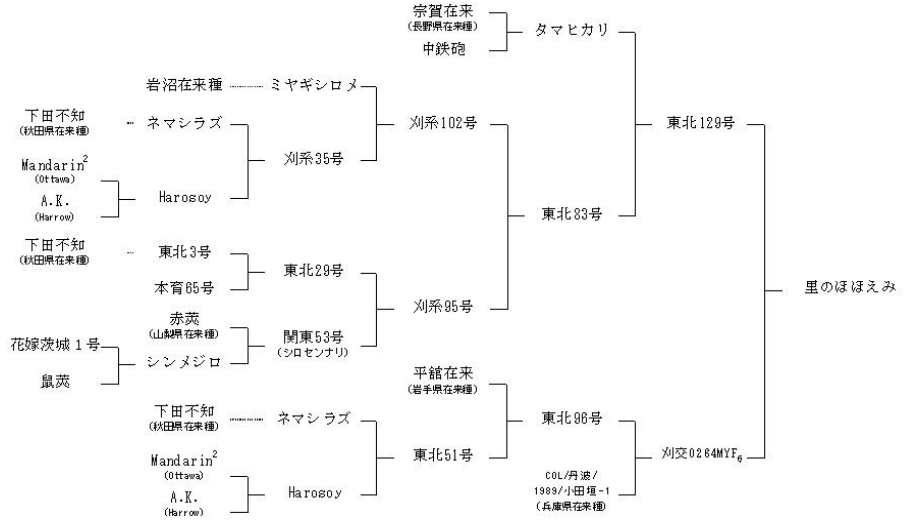


表１　生育特性

（東北農業研究センター大仙研究拠点、平成17～20年）

品種名	成熟期（月日）	主茎長（cm）	倒伏程度	最下着莢節位高(cm)	子実収量（kg/a）	百粒重（g）	ダイズモザイクウイルス抵抗性
里のほほえみ	10.21	85	少	29	37.7	39.4	強
エンレイ	10.15	84	多	23	41.1	33.1	中
スズユタカ	10.16	83	多	16	37.2	26.0	強

表２　品質特性

（東北農業研究センター大仙研究拠点、平成17～20年）

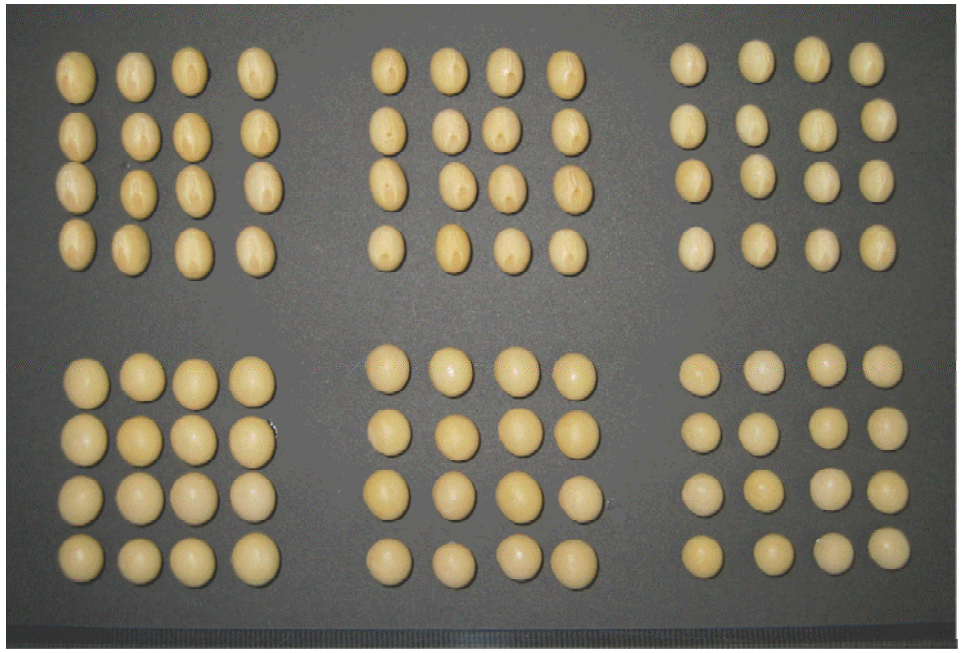
品種名	外観	成分含有率(%)		各種凝固剤における豆腐の硬さ(g/cm²)注		
	品質	粗蛋白質	粗脂肪	グルコノデルタラクトン	硫酸カルシウム	塩化マグネシウム
里のほほえみ	上の下	44.3	20.4	100	123	84
エンレイ	中の中	44.3	20.0	98	111	82
スズユタカ	中の上	39.6	20.7	－	－	－

注）豆腐加工試験はA社による試作製造、原料大豆は山形県農業総合研究センター平成20年産。グルコノデルタラクトン、硫酸カルシウム、塩化マグネシウムによる豆腐の硬さの評価基準値は、各々、90、90、60g/cm²以上である。

草　　姿

（左：「里のほほえみ」、中：「エンレイ」、右：「スズユタカ」）

子　　実



（左：「里のほほえみ」、中：「エンレイ」、右：「スズユタカ」）

そば農林６号「タチアカネ」（平成２１年度認定）

１．育成機関

長野県野菜花き試験場　畑作育種部
農林水産省そば育種指定試験地

２．来歴

育成期間：平成７年～ 20 年　（14 年間）
選抜母材：臼田町在来
旧系統名：桔梗３号

３．主要特性

・耐倒伏性に優れ、「信濃１号」、「常陸秋そば」等の既存の普及品種より倒伏しにくい。
・「信濃１号」よりゆで麺の色の評価が優れる。
・乳熟期の果皮色が赤色になる個体が多い。
・耐倒伏性に優れ、乳熟期の果皮色が赤色になる個体が多いことから「タチアカネ」として品種登録出願を行った。

４．特性概要

（１）生育特性

・生態型は中間秋型で標準の信濃１号と同じである。開花期、開花最盛期、成熟期はおおむね「信濃１号」と同等である。
・既存の普及品種より倒伏しにくい。
・子実重は「信濃１号」と同等で、千粒重、容積重は同等かやや大きい。

（２）品質特性

・果皮率は「信濃１号」と同等かやや少なく、製粉歩留は同等である。
・丸抜きの色、食味は「信濃１号」と同等かやや優れる。
・官能評価は「信濃１号」と同等かやや優り、特にゆで麺の色の評価が優れる。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：「信濃１号」栽培可能な地域
普及見込み：長野県で認定品種に採用
（普及見込み面積　200ha）

６．品種登録出願状況

平成 21 年 3 月 18 日　出願

７．予算区分

指定試験（そば育種）

系譜図

臼田町在来 ―――― タチアカネ(S10)

表１　生育特性（育成地　平成16～20年）

品種名 系統名	播種期 (月/日)	開花 最盛期 (月/日)	成熟期 (月/日)	生育 期間 (日)	草丈 (cm)	第１次 分枝数 (本)	倒伏程度 (6段階) (0:無-5:甚)	花房数 合計 (個)
タチアカネ	8/4	9/10	10/10	67	110	2.7	1.5	22.6
信濃1号	8/4	9/11	10/11	68	114	3.0	2.7	25.5
常陸秋そば	8/4	9/18	10/20	77	128	2.9	3.4	26.1
とよむすめ	8/4	9/13	10/14	71	117	3.1	2.0	25.3

表２　収量及び子実特性（育成地　平成16～20年）

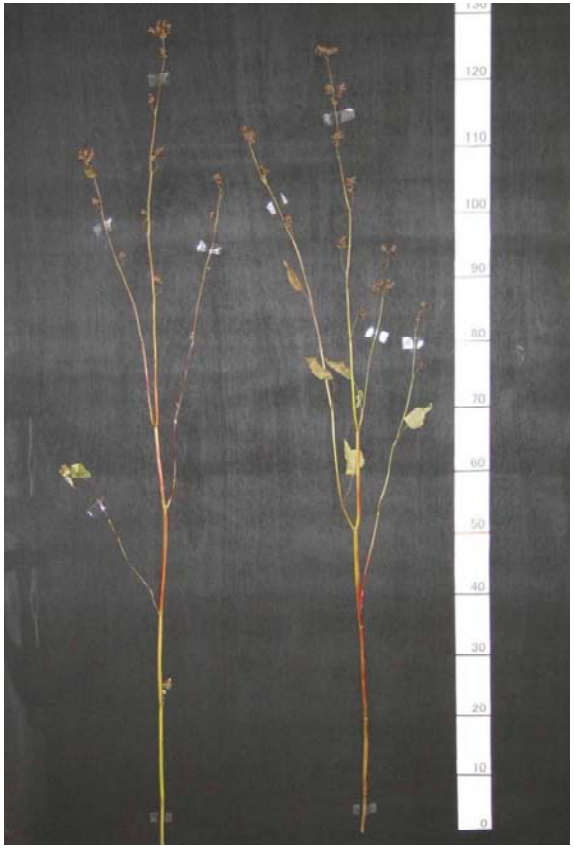
品種名 系統名	子実重 (kg/a)	容積重 (g)	千粒重 (g)	果皮率 (%)	色調：a* (-:緑～赤:+) 丸抜き	 そば粉
タチアカネ	22.2	630	32.9	21.0	-1.29	-0.37
信濃1号	22.0	609	31.6	22.1	-1.13	-0.36
常陸秋そば	21.8	603	35.1	22.1	-1.60	-0.53
とよむすめ	18.1	608	33.7	22.3	-1.06	-0.37

表３　品質特性（育成地　平成19～20年）

品種	色	香り	味	食感		合計
				かたさ	そばらしさ	
タチアカネ	14.9 **	13.7 ns	14.1 ns	14.5 ns	14.3 ns	71.6 ns
信濃1号	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	70.0

注)日本蕎麦協会官能審査表(1989)による
注)パネラー数は平成19年：22名、平成20年：34名
注)製麺法　平成19年：そば粉100%食総研式そば打ちキット
　　平成20年：年小麦粉16.7%混合による手打ち
注)*は信濃1号と比較し5%水準で、**は1%水準で有意差が認められた
注)nsは信濃1号と比較し有意差が認められなかった

草　　姿



（左：「信濃１号」、右：「タチアカネ」）

「タチアカネ」の乳熟期の果皮色

手打ち麺

（左：「タチアカネ」、右：「信濃１号」）

さとうきび農林２７号「Ni27」（平成２１年度認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センターバイオマス・資源作物開発チーム

２．来歴

育成期間：平成８年～２０年　（１３年間）
交 配 親：NiF8×RF79-247
旧系統名：KR96-93

３．主要特性

・中太茎で茎の揃いが良く、多収である。
・脱葉性が良好で、収穫しやすい。
・葉焼け病等の葉の病害に強い。
・さとうきび品種名付与の慣例に従い、国産さとうきび品種名称の順に「Ni26」に次ぐものとして「Ni27」と命名。なお、「Ｎｉ」は日本を意味する。

４．特性概要

（１）生育特性
・やや太茎で一茎重は「NiF8」よりも大きい。
・側枝の発生がなく、曲がり少なく脱葉性良好で「NiF8」同様に収穫しやすい。
・茎の揃いよく「NiF8」よりも多収。

（２）品質特性
・糖分上昇は「NiF8」同様にやや早い。
・収穫期の糖度は「NiF8」と同等で高い。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：南西諸島全域
普及見込み：沖縄県宮古・八重山地域　（普及見込み面積 1000ha）

６．品種登録出願状況

平成２１年５月１４日　出願
平成２１年７月２９日　出願公表

７．予算区分

［運営費交付金］211g：暖地・南西諸島の農業を支えるさとうきび等資源作物の低コスト安定生産技術の開発

系譜図

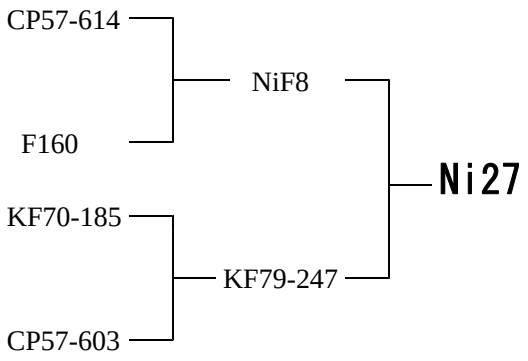


表１　生育特性
（種子島、春植え：H14 ～ 16、18 年度、株出し H14 ～ 16、18、19 年度）

品種名又は系統名	脱葉性	葉焼け病抵抗性	茎径（春・株mm）	1茎重（春・株 g）	原料茎重（春・株 kg/a）
Ni27	易	強	24・24	1000・1028	795・851
NiF8	易	強	24・22	929・842	751・781

表２　品質特性
（種子島、春植え：H14 ～ 16、18 年度、株出し H14 ～ 16、18、19 年度）

品種名又は系統名	Brix（春・株 %）	甘蔗糖度（春・株 %）	可製糖率（春・株 %）	登熟性
Ni27	17.8 ・ 17.8	13.1 ・ 15.6	12.4 ・ 12.0	やや早
NiF8	18.3 ・ 17.8	13.4 ・ 15.5	12.7 ・ 11.9	やや早

草　　姿

（左：「Ni27」、右：「NiF8」）

茎の形態

（左：「Ni27」、右：「NiF8」）

かんらん農林交３号「SAKCAB001」（平成２１年度認定）

１．育成機関
株式会社　サカタのタネ

２．来歴
育成期間：平成7年～平成16年　（9年間）
交 配 親：掛川6号（♀）×　掛川34号(♂)
旧系統名：K2-227

３．主要特性
- 一斉収穫に適し、最も労力のかかる収穫作業の省力化が可能である。
- 秀品率が高く、かつ収量性に優れ、生産性が高い。

４．特性概要
（１）生育特性
- 一斉収穫時の一球重および球形（縦横比）の揃いが良い。
- 一斉収穫時の収量性に優れ、かつ秀品（Lサイズ）率が高い。
- キャベツバーティシリウム萎凋病に耐病性を有する。
- 萎黄病にAタイプ抵抗性を有する。

（２）品質特性
- スムーズな扁円球で、隙間が少なくきれいに締まり、芯長が短いため、加工歩留まりに優れる。

（３）採種特性
- 親種子の採種性に優れる。
- F1種子の採種性および品質に優れる。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：東北以南の高冷地～暖地
普及見込み：群馬県吾妻郡嬬恋村で普及中（普及見込み面積510ha）

６．品種登録出願状況
平成20年1月11日　出願
平成20年3月26日　出願公表

７．予算区分
- プロジェクト研究「国産野菜の持続的生産技術の開発」（平成14年度、課題番号12201b）
- プロジェクト研究「新鮮でおいしい「ブランド・ニッポン」農作物提供のための総合研究」（平成15年度、平成16年度、課題番号62402）

系譜図

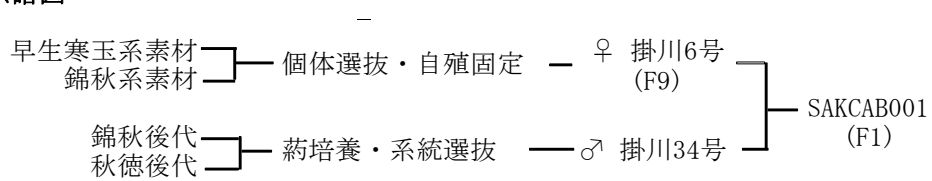


表1　一斉収穫時の収量特性（サカタのタネ育成地、2003年11月）

品種名	球重		縦横比		収量	秀品率
	平均(g)	変動係数	平均	変動係数	(Kg)	%
SAKCAB001	1534	19.6	1.7	4.6	53.6	97.2
秋徳(対照)	1283	39.6	1.4	6.3	38.2	72.2

36株（18株×2反復）、全収量は秀品（Lサイズ）のみを測定

表2 キャベツバーティシリウム萎凋病耐病性検定結果（サカタのタネ育成地、2005年6月）

品種	発病評点別個体数					発病度
	0	1	2	3	4	
SAKCAB001	7	2	1	1	1	23
秋徳(耐病性)	6	3	3			19
岳陽(罹病性)			3	7	2	73

発病評点　0:無病徴、1:僅かな黄化・萎縮、2:軽度の黄化・萎縮、3:黄化・萎縮、4:著しい病徴。

表3　品質特性（群馬県吾妻郡嬬恋村、2004年9月）

品種 形質	草姿	外葉の大きさ	葉色	球形	しまり	芯長※(%)	球重(g)
SAKCAB001	半立性	中	濃青緑	扁円スムーズ	良い	50	1732
岳陽(対照)	開張	小	鮮緑	扁平いびつ	ややゆるい	60	1393

※ 芯長：球の縦断面で高さに対する芯の長さの割合

表4　F1種子の採種特性（サカタのタネ育成地、2005年）

	株数	開花期間		花器	採種量(g)	
		始	終	形態	合計	株当
♀親	15	3/31	4/30	正常	255	17
♂親	15	3/31	4/28	正常	－	－

表5　F1種子の品質調査結果（サカタのタネ育成地、2005年）

品種名	純度検定結果(%)					発芽率
	F1	♀型	♂型	その他	非染色	(%)
SAKCAB001	98.9	1.1	0	0	0	96

純度検定＝アイソザイムマーカーによる

写真1　F1種子

写真2　草姿

写真3　生育状況（群馬県吾妻郡嬬恋村）

写真4　収穫物（外部）
左:「SAKCAB001」、右:「岳陽」(対照)

写真5　収穫物（内部）
左:「SAKCAB001」、右:「岳陽」(対照)

りんご農林１８号「もりのかがやき」（平成２１年度認定）

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合機構
果樹研究所リンゴ研究チーム

２．来歴
育成期間：昭和５６年～平成２０年　（２８年間）
交 配 親：つがる×ガラ
旧系統名：盛岡 63 号

３．主要特性
・育成地で 10 月中下旬に成熟する中生の黄色リンゴである。
・果皮は黄色でさびの発生は少なく、大果である。
・甘味が多く、酸味が少なく、食味は優れる。
・樹に着いた果実が陽の光を浴びてきらきら輝くイメージから命名された。

４．特性概要
（１）生育特性
・樹勢は中位で、樹姿はやや開張である。
・開花期は中位で、「ふじ」とほぼ同時期である。
・花芽の着生は中程度で、結実は良好である。
・果実の収穫期は育成地で10月中旬頃となり、「ふじ」より４週間程度早く、「ジョナゴールド」より５日前後早い中生品種である。

（２）品質特性
・果皮の色は黄色で着色は少なく、さびの発生は少ない。
・果形は長円形で、果実重は平均で370ｇ前後と大果である。
・果肉は硬く、肉質は中位で、果汁が多い。
・糖度は15％前後と高く、酸味は少なく、香りがあり、食味は安定して優れる。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：リンゴの栽培地域
普及見込み先：岩手県
平成２１年度穂木分譲先：２１業者

６．品種登録出願状況
平成２１年７月２８日　出願
平成２１年９月２４日　出願公表

７．予算区分
［運営費交付金］213e：高収益な果樹生産を可能とする高品質品種の育成と省力・安定生産技術の開発

系譜図

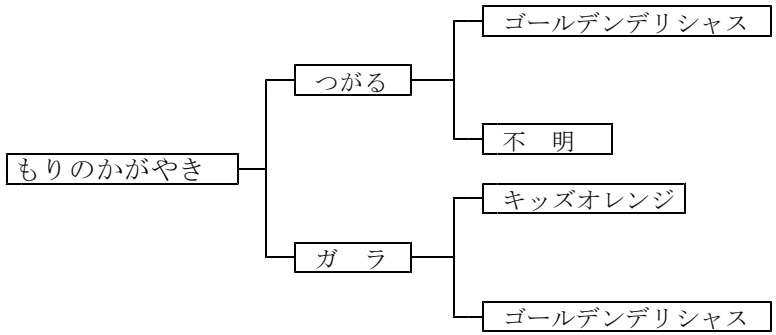


表１　「もりのかがやき」の樹性（農研機構果樹研究所、2004 ～ 2008 年）

品　種	樹勢	樹姿	開花盛期	収穫盛期	後期落果	果皮色	さびの多少
もりのかがやき	中	開張	5 月 14 日	10 月 22 日	少	浅黄	無～少
ふ　じ	強	開張	5 月 14 日	11 月 16 日	無～少	赤	無
ｼﾞｮﾅｺﾞｰﾙﾄﾞ	中	中間	5 月 14 日	10 月 27 日	無～少	濃赤	無～少

表２　「もりのかがやき」の果実形質（農研機構果樹研究所、2004 ～ 2008 年）

品　種	果実重 (g)	肉質	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	蜜の多少	裂果の多少	心かびの多少
もりのかがやき	374	中	15.0	0.24	無～少	少	無～少
ふ　じ	302	中	13.9	0.36	多	少	無～少
ｼﾞｮﾅｺﾞｰﾙﾄﾞ	327	中	14.1	0.46	無～少	無	無～少

図１　「もりのかがやき」の結実状況

図２　「もりのかがやき」の果実

あんず農林１号「サニーコット」（平成２１年度認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
果樹研究所ナシ・クリ・核果類研究チーム

２．来歴

育成期間：平成２年～２１年（２１年間）
交 配 親：アンズ筑波５号×ハーコット
旧系統名：アンズ筑波９号

３．主要特性

・自家結実性で、結実良好である。
・果実重は 110～120ｇ前後と大果である。
・糖度が高く、適度な酸味もあり、生食用あんずとして食味が優れている。
・太陽のように大きく黄色いあんず（アプリコット）であることから命名。

４．特性概要

（１）生育特性

・樹勢は強く、樹姿はやや開張する。
・開花期は育成地で３月下旬で、「ハーコット」および「平和」と同時期となる。
・自家結実性を有し、結実良好で「ハーコット」に較べて収量が多い。
・果実の収穫期は育成地で６月下旬となり、「ハーコット」より数日、「平和」より 10 日あまり遅い。

（２）品質特性

・果形は短楕円形で、果実重は 110～120ｇ前後と大果である。
・果肉は橙黄色、肉質は「やや密」で果汁は多い。
・糖度は平均 12％程度であり、「ハーコット」とより 1％程度低いが、「平和」より 3～4％高い。
・酸味はｐＨで 3.9 前後となり、「平和」に較べて少なく、「ハーコット」よりわずかに多い。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：既存のあんず栽培地域
普及見込み先：福井県、長野県、埼玉県、群馬県
平成２１年度穂木分譲先：３６業者

６．品種登録状況

平成２１年７月１５日　出願
平成２１年９月２４日　出願公表

７・予算区分

［運営費交付金］213e：高収益な果樹生産を可能とする高品質品種の育成と省力・安定生産技術の開発

系譜図

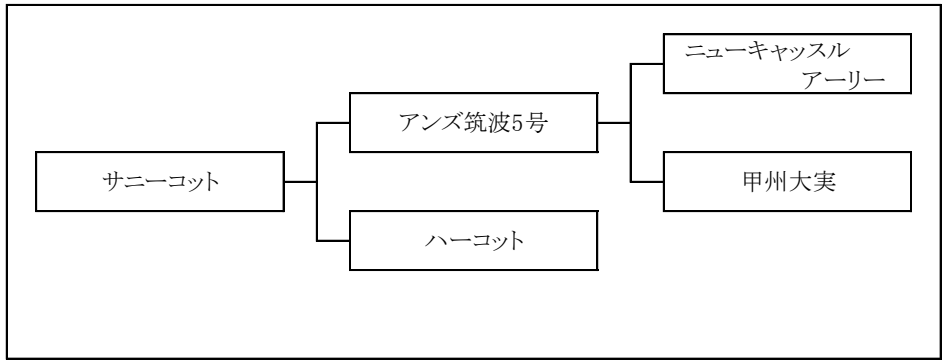


表１　「サニーコット」の樹性及び果実形質（果樹研究所、2008年）

品種･系統	樹勢	樹姿	開花盛期	収穫[a]盛期	果形	果皮着色	裂果
サニーコット	強	中間	3/29	6/30	楕円	やや少	少
ハーコット	強	中間	3/29	6/28	楕円	やや多	やや少
平和	強	中間	3/28	6/19	短楕円	円	多

表１　続き

品種･系統	果実重[a] (g)	果肉色	肉質	糖度[a] (%)	酸味[a] (pH)	核の粘離	自家結実性	収量
サニーコット	119	橙黄	やや密	12.0	3.86	離	強	多
ハーコット	107	橙	粗	13.1	4.21	離	中	やや少
平和	72	橙黄	やや粗	8.0	3.33	離	無	中

a:2002～2008年の平均値。

図１　「サニーコット」の結実状況

図２　「サニーコット」の果実

あんず農林２号「ニコニコット」（平成２１年度認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
果樹研究所ナシ・クリ・核果類研究チーム

２．来歴

育成期間：平成２年～２１年（２１年間）
交 配 親：ライバル×アンズ筑波５号
旧系統名：アンズ筑波 12 号

３．主要特性

・自家結実性で、結実が極めて良好である。
・果実重は 90ｇ前後となる。
・糖度が高く、酸味が少ないため生食用として食味が優れている。
・豊産性で、果実が甘くおいしいため、生産者も消費者も笑顔になるあんず（アプリコット）であることから命名。

４．特性概要

（１）生育特性

・樹勢は強く、樹姿は開張と直立の中間である。
・開花期は育成地で３月下旬で、「ハーコット」および「平和」より数日早い。
・自家結実性を有し、結実が極めて良好で「ハーコット」に較べて収量が多い。
・果実の収穫期は育成地で６月下旬となり、「ハーコット」と同時期、「平和」より 10 日あまり遅い。

（２）品質特性

・果形は短楕円形で、果実重は 90ｇ前後となり、裂果の発生は少ない。
・果肉は橙色、肉質は「中」で果汁はやや多い。
・糖度は平均で 13%程度であり、「ハーコット」と同程度、「平和」より５%程度高い。
・酸味はｐＨで 4.3 前後となり、「平和」に較べて少なく、「ハーコット」と同程度である。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：既存のあんず栽培地域
普及見込み：長野県、埼玉県、福井県 、群馬県
平成２１年度穂木分譲先：２８業者

６．品種登録出願状況

平成２１年７月１５日　出願
平成２１年９月２４日　出願公表

７．予算区分

［運営費交付金］213e：高収益な果樹生産を可能とする高品質品種の育成と省力・安定生産技術の開発

系譜図

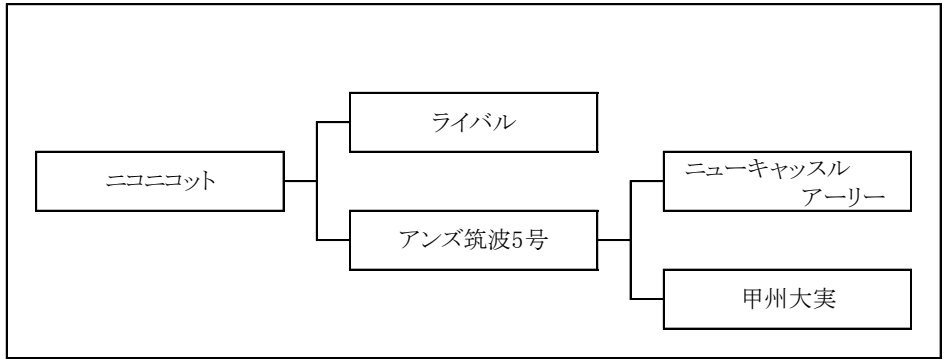


表１　「ニコニコット」の樹性及び果実形質（果樹研究所、2008年）

品種･系統	樹勢	樹姿	開花盛期	収穫[a]盛期	果形	果皮着色	裂果
ニコニコット	やや強	中間	3/26	6/28	短楕円	少	やや少
ハーコット	強	中間	3/29	6/28	楕円	やや多	やや少
平和	強	中間	3/28	6/19	短楕円	円	多

表１　続き

品種･系統	果実重[a] (g)	果肉色	肉質	糖度[a] (%)	酸味[a] (pH)	核の粘離	自家結実性	収量
ニコニコット	91	橙	中	13.0	4.25	離	強	多
ハーコット	107	橙	粗	13.1	4.21	離	中	やや少
平和	72	橙黄	やや粗	8.0	3.33	離	無	中

a:2002～2008年の平均値。

図１　「ニコニコット」の結実状況

図２　「ニコニコット」の果実

くり農林９号「美玖里」（平成２１年度認定）

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
果樹研究所ナシ・クリ・核果類研究チーム

２．来歴
育成期間：平成７年～２０年　（１４年間）
交 配 親：石鎚×秋峰
旧系統名：クリ筑波 39 号

３．主要特性
・果実が大きく、揃いが良い。
・果肉の色は黄色味が強い。肉質はホクホクして良好で、甘味と香気が多く、食味が優れる。
・品種名は、美味しく（美）外観が優れており（玖）、この品種が普及することで産地（里）が豊かになることを願って名付けた。さらに、系統名がクリ筑波 39 号であったことと、「九里より美味い十三里半」よりさらに美味しい（三十九里）という意味も込められている。

４．特性概要
（１）生育特性
・樹姿はやや直立で、樹勢は強い
・収穫期は筑波と石鎚の中間である。
・収量は筑波、石鎚と同程度である。
・双子果、裂果、腐敗果の発生は少ない。虫害果の発生がやや多いが、筑波や石鎚と同程度である。
（２）品質特性
・果実の大きさは 28g 程度と筑波や石鎚程度で、揃いは良好である。
・肉質の良さと相関の高い比重は筑波や石鎚より高い。
・果肉の色は黄色味が強い。
・肉質は筑波や石鎚よりホクホクしており、甘味や香気は石鎚より高く、食味が優れる。
・渋皮剥皮性は筑波や石鎚と同様難である。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：既存のクリ栽培地域で栽培可能でる。
普及見込み：熊本県、茨城県、岐阜県、京都府、新潟県、兵庫県
平成２１年度穂木分譲先：３９業者

６．品種登録出願状況
平成２１年７月１５日　出願
平成２１年９月２４日　出願公表

７．予算区分
[運営費交付金]213e：高収益な果樹生産を可能とする高品質品種の育成と省力・安定生産技術の開発

系譜図

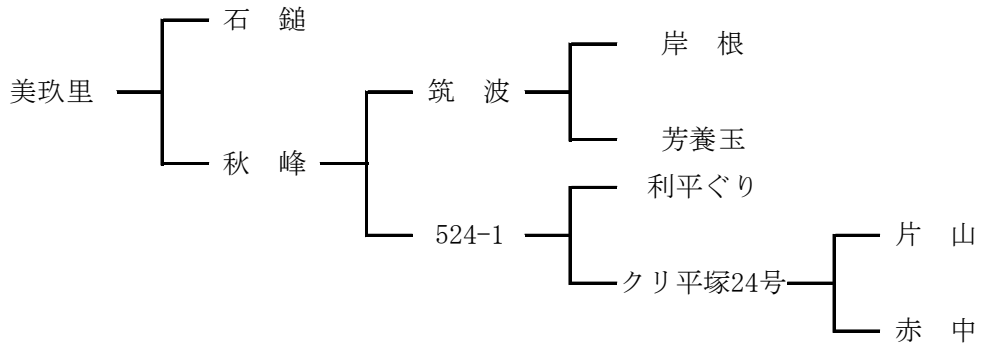


表1　美玖里の樹体特性　（果樹研究所2004-2008）

品種・系統	樹姿	樹勢	収穫盛期	収量 (kg)	双子果率 (%)	裂果率 (%)	腐敗果率 (%)	虫害果率 (%)
美玖里	やや直	強	9月29日	7.1	2.9	6.1	1.1	24.2
筑　波	中	やや強	9月25日	7.4	1.1	6.0	2.1	20.7
石　鎚	やや直	中	10月2日	8.8	0.6	6.8	0.8	24.5

表２　美玖里の果実特性　（果樹研究所2004-2008）

	平均重 (g)	果実の揃い	比重	果肉色	肉質	甘味	香気	渋皮剥皮性
美玖里	27.9	良	1.084	黄	粉	やや多	やや多	難
筑　波	27.6	良	1.068	淡黄	やや粉	やや多	やや多	難
石　鎚	25.9	良	1.064	淡黄	中	中	中	難

美玖里の樹姿

美玖里の結実状況

ぶどう農林２４号「クイーンニーナ」（平成２１年度認定）

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
果樹研究所　ブドウ・カキ研究チーム

２．来歴
育成期間：平成４年～２０年　（１７年間）
交 配 親：安芸津 20 号×安芸クイーン
旧系統名：安芸津 27 号

３．主要特性
・巨峰より晩い時期に熟する赤色ブドウである。
・果粒重は17g程度で巨峰、ピオーネより大粒である。
・２回のジベレリン処理で容易に大粒・無核果を生産できる。
・名称は、安芸クイーンの子であり、安芸津 27 号の「27」と、スペイン語で女の子を表す「Nina」（ニーニャ）にちなむ。

４．特性概要
（１）生育特性
・開花盛期は巨峰、ピオーネよりやや晩い。
・収穫盛期は巨峰、ピオーネよりやや晩い。
・鮮やかな赤色果粒を得るための収量は、1.2t/10a 程度と見込まれる。

（２）品質特性
・２回のジベレリン処理で容易に大粒・無核果が生産できる。
・果粒重は 17 ｇ程度で、巨峰、ピオーネより大きい赤色ブドウである。
・巨峰やピオーネより糖度は高く酸は低い。
・肉質は崩壊性で硬く、巨峰、ピオーネより優れる。
・年により、あるいは収穫が遅れると裂果が発生することがある。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：東北以南の巨峰栽培地域
普及見込み先：栃木県、埼玉県、長野県、富山県、大阪府、兵庫県
広島県、山口県、香川県、宮崎県
平成２１年度穂木分譲先：３４業者

６．品種登録出願状況
平成２１年７月１５日　出願
平成２１年９月２４日　出願公表

７．予算区分
［運営費交付金］213e：高収益な果樹生産を可能とする高品質品種の育成と省力・安定生産技術の開発

系譜図

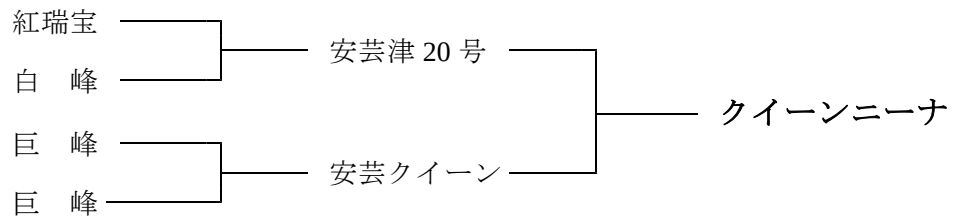


表１　「クイーンニーナ」の樹性および果実特性（果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点、広島県東広島市、2004 ～ 2008 年）

品　　種	樹勢	開花盛期	収穫盛期	果房重 (g)	果粒重 (g)	果皮色	はく皮性
クイーンニーナ	強	６月６日	９月１日	517	17.6	赤	易～中
巨　　峰	強	６月２日	８月 27 日	426	12.4	紫黒	易～中
ピ　オ　ー　ネ	強	６月２日	８月 27 日	534	16.7	紫黒	易～中

いずれも満開期および満開 10 ～ 15 日後にジベレリン 25ppm を処理。

表２　「クイーンニーナ」の果実特性（果樹研究所ブドウ・カキ研究拠点、広島県東広島市、2004 ～ 2008 年）

品　　種	裂果性	糖度 (%)	酸含量 (g/100ml)	果肉特性	果肉硬度	香気	渋み
クイーンニーナ	なし～中	21.7	0.37	崩壊性	硬	F	なし
巨　　峰	なし～極少	19.3	0.50	中　間	中	F	なし
ピ　オ　ー　ネ	なし	19.5	0.45	中　間	中	F	なし

香気の F は、フォクシーの略。

「クイーンニーナ」の結実状況

「クイーンニーナ」の果実

パインアップル農林７号「ジュリオスター」（平成２１年度認定）

１．育成機関

沖縄県農業研究センター名護支所果樹班
（パインアップル育種指定試験地）

２．来歴

育成期間：平成 1 年～ 20 年　（20 年間）
交 配 親：N67-10 ×クリームパイン
旧系統名：パインアップル沖縄 10 号

３．主要特性

・早生の大果品種である。
・高糖低酸で果汁が多く食味が優れる。
・黒目病や花樟病などの果実病害が少ない
・品種名の由来はスペイン語の 7 月（Julio）と英語の星（star）を組み合わせたもので成熟期を表現した。

４．特性概要

（１）生育特性

・7 月下旬に成熟する早生品種で「N67-10」より約 3 週間成熟期が早い。
・えい芽の発生は 4.9 本と適正で種苗増殖は容易である。

（２）品質特性

・果実重は 1200g 程度で同時期に成熟する生食用品種より大きく、「N67-10」と同程度である。
・成熟時の果皮色が橙色で鮮やかである。
・Brix は 16%程度、酸度は 0.6%程度と高糖低酸で品質が優れる。
・果汁が多く食味は良好である。
・黒目病、花樟病などの果実病害の発生が少ない。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：南西諸島の酸性土壌地帯
普及見込み：沖縄県で奨励品種に採用予定
（普及見込み面積 50ha）

６．品種登録出願状況

平成 21 年 3 月 13 日　出願
平成 21 年 5 月 28 日　出願公表

７．予算区分

指定試験事業　（高品質、良食味、高日持ち性、病害抵抗性、生食用多収パインアップル品種の育成）

系譜図

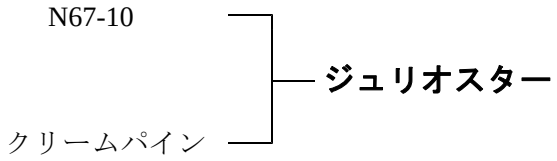


表１　生育特性　（沖縄県農業研究センター名護支所 2001～2008年）

品種名	平均収穫日	成熟日数（日）	冠芽数（本）	えい芽数（本）	吸芽数（本）
ジュリオスター	7月24日	124	1.0	4.9	0.3
N67-10	8月17日	144	1.1	2.1	0.8
ボゴール	7月22日	116	1.0	3.4	2.0

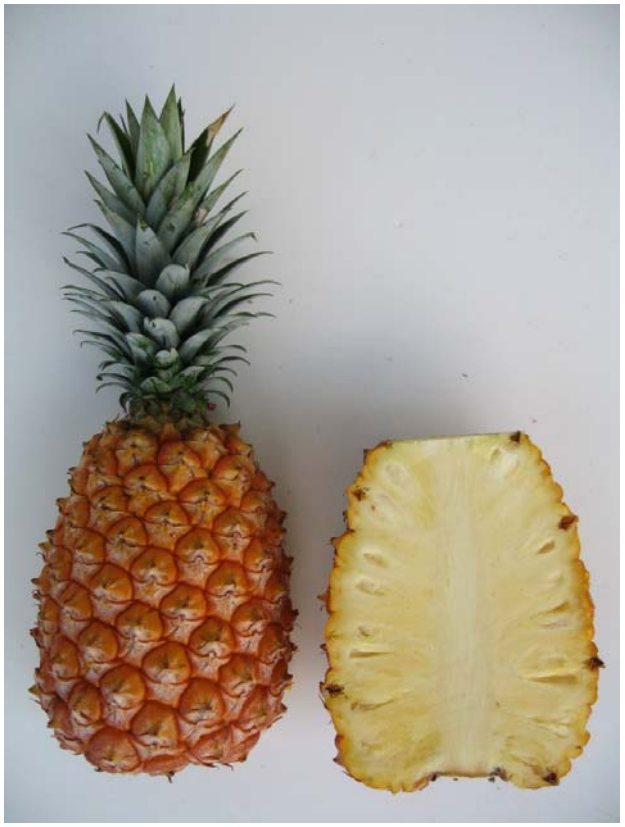
表２　品質特性　（沖縄県農業研究センター名護支所　2001～2008年）

品種名	果実			果肉			果汁			果実病害 z	
	果形	果皮色	果重（g）	色	肉質	果汁量	Brix（%）	酸度（%）	糖酸比	黒目病（%）	花樟病（%）
ジュリオスター	たる	橙	1174	黄白	中	多	16.0	0.62	26.1	5.3	0
N67-10	円筒	橙黄	1192	黄白	中	多	14.1	0.77	19.0	5.3	8.1
ボゴール	たる-円筒	黄橙	819	淡黄	軟	少	18.4	0.63	30.1	21.0	2.1

Z ： 2006～2008年の平均値

結実状況

果　　実



メドウフェスク農林合３号「まきばさかえ」（平成２１年度認定）

１．育成機関

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター寒地飼料作物育種研究チーム

２．来歴

育成期間：平成６年～２０年（１５年間）
交 配 親：Bundy、Salten、Boris に由来する５栄養系
旧系統名：北海 15 号

３．主要特性

・越冬性、雪腐病抵抗性に優れる。
・短草・多回刈りでの収量性に優れ、集約放牧に利用できる。
・品種名称は、越冬性に優れ、放牧地の生産性が長期間持続することから、牧場（まきば）が栄えることを表す。

４．特性概要

（１）生育特性

・越冬性、雪腐大粒菌核病および雪腐黒色小粒菌核病抵抗性は「ハルサカエ」（標準品種）、「プラデール」（比較品種）より優れる。
・耐寒性は「ハルサカエ」と同程度で、「プラデール」より優れる。
・短草・多回刈りでの乾物収量は、「ハルサカエ」、「プラデール」より高く、季節別では春季と秋季に優れる。
・放牧条件下での採食程度は「ハルサカエ」と同程度であるが、メドウフェスク被度は高く、放牧前草量もやや多く、放牧適性はやや優れる。

（２）品質特性

・粗蛋白質含量、ADF 含量、TDN 含量は「ハルサカエ」と同程度である。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：北海道全域、とくに道東などの土壌凍結地帯
普及見込み：北海道で奨励品種に採用
（普及見込み面積 6,000ha）

６．品種登録出願状況

平成２１年７月１７日　出願
平成２１年９月２４日　出願公表

７．予算区分

［運営費交付金］212c2：粗飼料自給率向上のための高ＴＤＮ収量とうもろこし、牧草等の品種育成
［委託費］平成 19 年度「えさプロ」実施課題：寒地向き採草用高糖含量オーチャードグラス等品種・系統の育成

系譜図

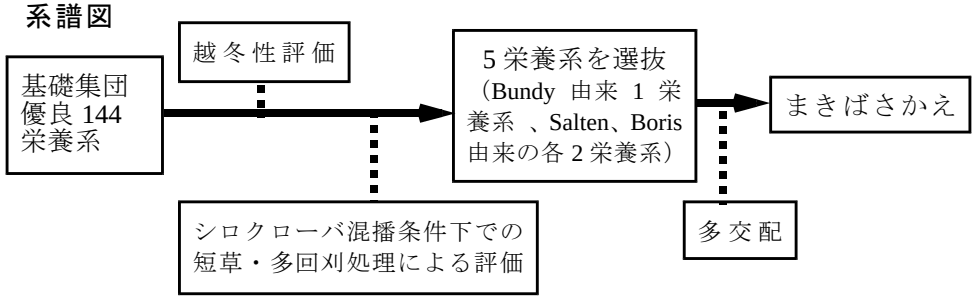


表１「まきばさかえ」の生育特性

（北農研他６場所、平成 17 ～ 20 年）

品種名	越冬性		雪腐病抵抗性		耐寒性	放牧適性		
	（道東）	（全場所）	雪腐大粒菌核病（根釧）	雪腐黒色小粒菌核病（北農研）	（根釧）	メドウフェスク被度（道立畜試）	放牧前草量（道立畜試）	採食程度（道立畜試）
まきばさかえ	6.0	5.7	強	79	やや強	81	156（105）	5.8
ハルサカエ	4.7	4.7	中	59	やや強	74	149（100）	5.8
プラデール	4.1	3.9	やや弱	40	中			

越冬性は 1:極不良～ 9:極良、採食程度は 1:極少～ 9:極多による評点。道東は道立畜試、北見農試、根釧農試、十勝牧場の土壌凍結地帯の 4 場所、全場所は北農研、天北支場、道立畜試、北見農試、根釧農試、十勝牧場、新冠牧場の 7 場所。雪腐大粒菌核病、耐寒性は越冬後調査による総合判定。雪腐黒色小粒菌核病は病原菌接種後生存個体率(%)。メドウフェスク被度は試験最終 4 年目の被度(%)。放牧前草量は 3 か年合計乾物収量(kg/a)、括弧内は「ハルサカエ」対比(%)。

表２「まきばさかえ」の収量性

（北農研他６場所、平成 17 ～ 20 年）

品種名	乾物収量のハルサカエ比（%）				
	道東平均（4 場所）	全場所平均（7 場所）	季節別平均（全場所）		
			春季	夏季	秋季
まきばさかえ	107	108	111	101	111
ハルサカエ	185.1	170.8	75.9	64.7	29.1
プラデール	94	91	83	94	106

短草・多回刈りによる平成 18 ～ 20 年の 3 か年合計乾物収量。「ハルサカエ」は実数値(kg/a)。

表３「まきばさかえ」の品質特性

（北農研 8 回刈り平均、平成 18 年）

品種名	粗蛋白質含量	ADF 含量	推定 TDN 含量
まきばさかえ	20.9	25.6	71.0
ハルサカエ	20.4	25.6	69.9
プラデール	19.9	27.1	70.0

数値は乾物中%

「まきばさかえ」の草姿

（左：「ハルサカエ」、右：「まきばさかえ」）
（北海道農業研究センター、平成 18 年 6 月 13 日）

土壌凍結地における「まきばさかえ」の雪解け後の生育状況

（左５列：「まきばさかえ」、右５列：「ハルサカエ」））
（北海道立根釧農業試験場、平成 18 年５月９日）

とうもろこし農林交６７号「たちぴりか」（平成２１年度認定）

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター寒地飼料作物育種研究チーム

２．来歴
育成期間：平成１３年～２０年　（８年間）
交 配 親：Ho87 × Ho90
旧系統名：北交 66 号

３．主要特性
・耐倒伏性が強い。
・すす紋病抵抗性が極強である。
・品種名称の由来：日本語の「立ち」と、アイヌ語で「立派、美しい」を意味する「ぴりか」を組合せ、耐倒伏性が強く、立派に生育する本品種の特性を表す。

４．特性概要
（１）生育特性
・熟期は「ぱぴりか」並で“早生の早”に属する。
・稈長および着雌穂高は低い

（２）品質特性
・TDN（可消化養分）含量は「ぱぴりか」並である。
・「ぱぴりか」と比べ、茎葉の高消化性成分は並だが、繊維の消化性はやや高く、雌穂重割合がやや高い。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北海道の根釧および道北地域
普及見込み：北海道で奨励品種に採用
（普及見込み面積　1,000 ha）

６．品種登録出願状況
平成２１年６月２２日　出願
平成２１年８月１８日　出願公表

７．予算区分
［運営費交付金］212c2：粗飼料自給率向上のための高ＴＤＮ収量のとうもろこし、牧草等の品種育成
［委託費］平成 20 年度「えさプロ」実施課題：寒地向き高 TDN とうもろこし品種の育成

系譜図

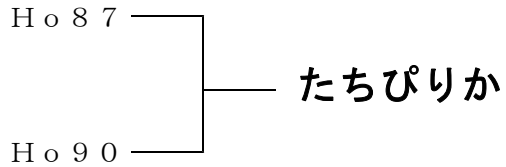


表１　生育特性
（根釧農試および上川農試天北支場における 2005 ～ 2008 年の平均）

形　質	たちぴりか	ぱぴりか
絹糸抽出期（月日）	8.11	8.10
発芽期（月日）	6. 9	6. 8
初期生育(1～9)[1]	7.2	7.9
稈長（cm）	166	191
着雌穂高（cm）	50	50
倒伏個体率（%）[2]	8.1	25.1
(同上根釧農試平均，天北支場平均)	(15.8, 0.4)	(30.5, 3.0)
収穫時熟度	黄熟中期	黄熟中期
乾物率（%）	32.5	33.0
乾物総重（kg/a）	115.9	114.3
TDN 収量（kg/a）[3]	78.2	77.4
すす紋病罹病程度（0-100）[4]	11.0（極強）	40.1（弱）

1) 1:極不良～9:極良の評点　2)発生がみられた試験の平均
3) 各試験における茎葉および雌穂収量と育成地における各消化性分画含量から算出
4) 長野県野菜花き試験場における抵抗性検定試験の成績、数字は 0:無～100:完全枯死の指数

表２　品質特性　（単位：乾物中%）
（根釧農試の試料を北農研で近赤外分光法により分析、2008 年）

品種名	茎葉の OCC+Oa	茎葉の Oa/OCW	雌穂重割合	TDN
たちぴりか	33.4	13.3	52.6	66.5
ぱぴりか	33.5	11.9	52.2	66.6

注）OCC+Oa:高消化性成分の合計、Oa/OCW:繊維成分の消化
TDN:可消化養分総量

草　　姿

雌　　穂